

平成 26 年度 農業サポーター活動開始！

2014 年 4 月 10 日 / 第 49 号

桜の花もほころび、柔らかな日差しの下、春本番を感じる日々が続いています。平成 26 年度の農業サポーター活動が始まりました。今回は、新規受入農家としてご協力いただく南区・北区の農家さんを訪問させていただきました。

南区茨曾根：長崎さん

南区茨曾根地区は果樹栽培の盛んな地域です。受入農家の長崎さんも20反ほどの園地に「ナシ・モモ・ブドウ・リンゴ・ルレクチエなど」を栽培している果樹農家です。急に暖かくなったこの日はルレクチエの枝縛り作業やモモの摘雷作業をされていました。「果樹栽培は剪定・摘雷・花粉づけ・まねぎ・袋かけ・・・など様々な作業が続き、多くの手間がかかりますが、収穫したものを皆さんがおいしいと食べてくれるとうれしい。」これから花が咲くと一面ピンク(モモの花)と白(ナシの花)のコラボレーションで敷き詰められ、とてもきれいで花見が楽しめるんですよ。」と教えていただきました。

桜の花見が終わったら、南区までちょっとドライブを楽しみ「モモとナシの花見」を楽しんでみませんか？



イチゴの出荷(石山さん)

モモの摘雷(長崎さん)

南区東笠巻：石山さん

石山さんは、大学を卒業後就農し、野菜の苗づくりとイチゴ栽培を始めて10年になります。今はイチゴの収穫期を迎えていて、毎日朝5時から収穫作業に追われているそうです。伺った日は午後でしたが、手際よくパック詰めをしていました。また、サポーターさんの清瀬さん・金多賀さんは、箱折やパックの箱詰め・判子押しなどの作業を手伝っていました。サポーター活動の長いお二人ですが、「イチゴの作業は初めて」ということでした。この日50箱ほど仕上げた石山さんは「いつもは夜まで作業をしている。今日はサポーターさんに手伝ってもらい、非常に助かった。」と喜んでいただきました。

まだまだ若手の石山さん、加入している「しろねいちご部会」の先輩に指導を受けながら、生産者として、消費者に良いものを届け続けられるよう頑張っていきたいと、力強く語っていただきました。

目次

平成 26 年度 農業サポーター活動開始！	1
何でも掲示板	2
新年度の農業サポーター事務局について	2

北区太田：金子さん

通年ハウスでほうれん草・小松菜・ブロッコリーなどの葉物野菜を年間20種類ほど栽培・出荷している金子さんは、Uターンして就農し3年目になる若手農家です。

今は先輩であるお父さんについて勉強の日々ですが、後継ぎ問題が深刻な農家にあって、「農業で生計を立てられるようになりたい。農業を産業として維持していきたい。」と頑張っています。

主に直売所とインショップに出荷しているそうですが、消費者や直売所の方から「おいしかったよ。」「金子さんとこの野菜は評判がいいね。」など、声をかけてもらえると、うれしいし、やりがいを感じるそうです。



ブロッコリーの収穫(金子さん)

北区鳥屋：片桐さん

トマトのわき芽かき(片桐さん)

片桐さんも、サラリーマンから新規就農者に転身した若手農業者の一人です。約2年間生産組合で研修をして、昨年10月に独り立ちしたばかりだそうです。お邪魔した一反ハウスには約2,000本の「トマト苗」が植えられ、定植1週間程でしたが、花が咲き・かわいいトマトの実がついていました。今後、5月中旬から7月くらいまで収穫が続き、その後、9月過ぎの収穫に向けての作業を行い、年2回の収穫を目指しています。前は、販売の仕事についていた片桐さんですが、出来たものを売るだけでなく、生産に関わりたくて転職を決意したそうです。

今は、お一人で頑張っていますが、「将来は奥さんと二人でやっていきたい。」とおっしゃっていました。

何でも掲示板

「食と花の銘産品 贈り物促進事業」のご案内

昨年に引き続き今年も新潟市では、自信をもって全国に誇る優れた農水畜産物の中から、新潟市ならではの特産物を「食と花の銘産品」に指定し、その販路拡大や生産振興を図るため全国に向けて発信しています。

(対象となる銘産品は、越後姫やル レクチエなど16品)

- ① 農業サポーター受入農家の中にも「食と花の銘産品」を生産している農家がいらっしゃいます。農業サポーター活動で農家と一緒に育てた農産物(銘産品)を、県内外の知人などへ贈り、「銘産品の宣伝マン」として活躍してみませんか?
- ② 贈り物にする農産物(銘産品)には、メッセージカードやオリジナルののし紙を付けて、心のこもった“オンリーワン”の贈り物にしましょう。

農業サポーター受入農家で「食と花の銘産品」を生産し、かつ贈り物事業に参加する農家でサポーター活動をして、「食と花の銘産品 贈り物促進事業」に参加しませんか?皆さんの参加をお待ちしています。

～同封いたしました資料(平成 26 年度「食と花の銘産品贈り物促進事業」の参加申込みについて)をご覧ください。4月20日(日)までに食育・花育センターへお申し込みください。～

新年度の農業サポーター事務局について

【事務局担当者について】

今回の人事異動で農業サポーターの担当者が変わりました。昨年担当している瀧澤係長と星野に加え、4月から新採用職員の小侯が、農業サポーター事務局の担当者になります。

本年度も、よろしくお願いいたします。事務局一同

「お世話になりました」

杉本

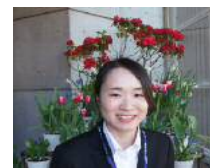
この度、4年間務めさせていただいた「サポーター事務局」を卒業することになりました。この制度を通じ、人間味あふれる農家さん・熱心なサポーターの皆さんと出会えたことは非常に刺激的な経験であり、自分自身の考え方や行動の幅を広げることができました。

事務局は卒業しますが、引き続き食育・花育センターには勤務していますので、今後とも、よろしくお願いいたします。

「よろしくお願いいたします」

小侯

今年、新規採用されました小侯 望と申します。わからないことも多いですが、農業サポーターの皆様のお役に立てるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



「食と農の学校 週末農業体験教室」

食と農アドバイスを受けながら野菜などの栽培を体験する「食と農の学校 週末農業体験教室」を市内4箇所で開催します。生産者との交流を通し、農業を身近に感じてみませんか。皆さんの参加をお待ちしています。

○教室名：秋葉区うららこすど教室、南区アグリ教室、西区農業体験教室、西蒲区中之口農業体験教室

○開催期間：4月～11月(南区は1月まで)全7～10回

※原則土曜開催(西区は金曜開催もあり)

○定員：18歳以上 各20人 応募多数の場合抽選

○参加費：3,000円～4,000円(別途実費あり)

○申込方法：4月14日月曜(必着)・・・秋葉区・西区

4月25日金曜(必着)・・・南区・西蒲区

までに、はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入し下記申込先へ。

秋葉区…うららこすど

〒956-0101 秋葉区小須戸 893-1

電話：0250-38-5430 FAX:0250-38-5801

南区…南区役所産業振興課

〒950-1292 南区白根 1235

電話：025-372-6505 FAX:025-371-0200

西区…西区役所農政商工課

〒950-2097 西区寺尾東3丁目14番41号

電話：025-264-7623 FAX:025-260-3899

西蒲区…中之口農業体験公園

〒950-1323 西蒲区東小吉 775-1

電話：025-375-2505 FAX:025-375-2585

新潟市農業サポーター事務局 (新潟市食育・花育センター内)

住所：新潟市中央区清五郎 401 番地 電話番号：(025)282-4181 FAX：(025)282-4987

◆電子メール アドレス：shokuikuhanaiku@city.niigata.lg.jp

◆Web サイトのアドレス http://www.city.niigata.lg.jp/business/shoku_hana/nougyo/supporter/supporter_kiroku.htm

◆ブログ版「農業サポーター通信」 <http://agri-supporter.shokuhana.com/>

携帯電話はこちらから⇒

